



みずおか 健一

日政連参議院議員、  
立憲民主党参議院会長

- 家庭の環境によらず子どもたちが安心して学び続けられる制度
  - 教職員が健康で充実感をもって働くことのできる環境
  - ジェンダー平等、非正規職員処遇改善、高齢者福祉の充実…
- 詳細は、日退教通信号外1、2号を参照のこと

# 参議院選挙で勝利し、 次の総選挙で 本格的な 政権交代を！

【講師】 日本体育大学 清水 雅彦 教授



2024年度の地方公務員退職者協議会（地公退）学習会は、1月30日に日退教10人を含め、およそ60人の参加で行われました。竹田邦明地公退会長は「7月予定の参議院選挙は、次の総選挙で政権交代に結び付けられるか、極めて重要な選挙だ」と挨拶をしました。

清水教授は講演の「『安保三文書』と憲法」で、大きく2つを中心に話され、最後はやはり選挙での勝利を強調しました。

以下、概要を報告します。

(1) 自民党は、2005年10月に9条改憲案で「自衛軍を保持する」とし、2012年4月には「自衛権の発動を妨げるものではない」「国防軍を保持する」とした。そして、2018年3月には、あの改憲4項目に「国及び国民の安全を保つために必要な自衛の措置をとること」を妨げず…内閣の首長たる内閣総理大臣を最高の指揮監督者とする自衛隊を保持する」と9条に自衛隊を明記するとした。

憲法の研究者は、6割近くが「自衛隊は憲法違反」と考えているが、憲法に自衛隊が明記されれば、憲法違憲論は主張できなくなり、日本の平和に重大な影響を及ぼす。

## 2025年度の主な日程

- 6月6日(金) 11時  
日退教第51回定期総会
- 7月16日(水)  
第29回退連総会
- 7月25日(金)  
第56回地公退総会
- 9月17日(水) 午後1時  
地公退高齢者集会  
(夕方、女性参加者の集い)
- 9月18日(木) 午後1時  
退連高齢者集会  
(午前 政治学習会)
- 10月9日(木) 11時  
第31回五者学習会 (予定)
- 10月10日(金) 10時  
第31回組織活動交流集会  
(予定)
- 10月20日(月)～25日(金)  
中国 成都・重慶への旅

石破首相は、2018年の自衛隊明記案ではなく、12年の国防軍設置、徴兵制合憲、日米地位協定改定論者であるが、昨年の総選挙で、改憲勢力が三分の二を下回り、衆議院憲法審査会の会長に枝野幸男元立憲代表が就任し、一見改憲の動きは止まったように見える。しかし、維新、公明、国民、無所属の会など有志の会は、非常時における議員の任期延長を主張しているし、自民は、日本の非常時は韓国大統領による非常戒厳とは異なるなどと主張し、今後も予断は許さない。

そして、形骸化する政府の9条政策、国連憲章上の問題、先制攻撃としての敵基地攻撃、防衛費増額の問題、待ち受ける増税などについて、鋭く批判をしました。

(2) 今後の運動を考えると必要なことは、大同団結である。「労組と市民と野党の共闘」として、2014年3月結成の「戦争をさせない1000人委員会」(中心は「フォーラム平和・人権・環境」)を中心に、他の団体など一定の共闘体制が出来たが、選挙協力は不十分であった。2019年の参議院選挙では、32あるすべての一人区で立憲野党の統一候補が実現したが、2022年の参議院選挙では、32の一人区で11だけにとどまった。この間、野党の多党化は進み、さらに、ネットを活用した戦術が、かなりの成果を上げ、これまでのような左翼・リベラルだけでは国会で多数派を作ることは困難になっている。

そして、政権を本気で取りに行く大同団結が必要であり、職場でも地域でも、学習会、宣伝活動、若者対策などを進めていくことを強調し、7月予定の参議院選挙で勝利することが重要として講演を終えた。

# 日退教通信

No. 418

2025.4

## 日本退職教職員協議会

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋二一六一二 日本教育会館6F  
 発行責任者 竹田邦明  
 TEL 03(527275) 2197 FAX 03(527275) 20081  
 Email nritaikyo@gmail.com ホームページURL http://www.nritaikyo.com



# 第13次日退教沖縄交流団 に参加して



安藤 節子  
(都高退)

12月初旬の沖縄は、「とっくり木綿」のピンクの花が満開、他にもハイビスカスやブーゲンビリヤが咲き、春のような景色であった。バスで嘉数台地に案内され、眼下の普天間基地を見下ろした。周囲は人家が密集、あの墜落があった沖繩国際大学も基地のフェンスから間近に見える。「あり得ない」基地と人家の近さだ。アメリカでは許されない接近がここではまだ放置されている。無条件即時返還を政府は行うべきで、辺野古新基地建設と引き換えではない。

次に米空軍基地として最大の嘉手納では、戦闘機発進のすさまじい爆音を聞いた。お腹に響いて体の内部から揺さぶられた。これでは学校の授業も会議も寸断され、病院の患者も安静を保てない。しかもここ嘉手納や普天間からの戦闘機やヘリ、オスプレーなどがいつ墜落事故を起こすかも知れない不安と恐怖の中で、住民の日常生活が営まれている。

その後、辺野古でゲート前座り込みに参加、機動隊に排除される。ミキサー車やダンプ、建設資材を積んだトラックなどが入り始め、数えたら105台が入った。これでも少ない方だという。工事が急ピッチで進んでいる。しかし作業用ヤードを作るため、沿岸近くに捨て石を投入しても沈んでいくば

かりだという。軟弱地盤の調査は今もって不十分なのだ。

前日は、那覇の教育会館で「米軍基地と性暴力」と題して高里鈴代さんの講演会が開かれた(日退教13名、沖縄県退教、高退教の方たちを加えて50名位の参加)。29ページにも及ぶ高齢者に見やすいカラーの大きな文字でまとめられたレジュメは、1947年の天皇メッセージ……沖縄の長期軍事占領の継続を望む……から始まっていた。米軍の上陸から朝鮮戦争にかけて年齢を問わずの強姦・殺害の多発は日本がアジアで行ったそれを想起させた。1951年には「性病予防」のため「Aサイン」制度(月2回の性病検査をバーなどの店に義務づけ)が実施、基地の周辺には売春街が形成される。

その中でも強姦や絞殺など被害者が頻発する。特に復帰前夜のベトナム戦争時、20人もの女性たちが絞殺死体で見殺されている。治外法権の沖縄で、犯人は米軍に引き渡されて処罰不明となる事案がほとんどであった。復帰後の1973年でもなお10数件の強姦事件が起こり、1995年には米兵3人による小学生少女レイプ事件で、県民の怒りが爆発、85000人の県民大会となり、SACO合意につながる。しかし沖縄の負担軽減どころか、普天間の代替として

辺野古新基地建設を強行、県民の総意が何度示されようと政府はあらゆる手段を使って工事を強行している。

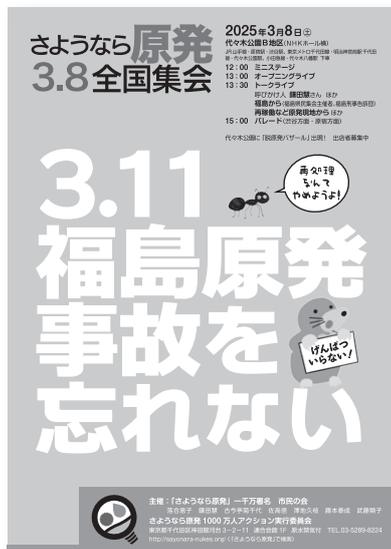
米軍は、金網のフェンスとゲートで地域社会との境界線を設置、基地内では兵士と家族の快適な生活が保障され、犯罪はすべて基地の外で起こる。2023年末に起こった米兵による少女への性暴力事件は、半年間も沖縄県知事に報告されなかった。「被害者のプライバシー保護」を口実に防衛局や外務省によって隠蔽された。

これらの米兵による「性暴力事件」が続発するのは、旧日本軍の「慰安婦制度」と通じる、性差別・民族差別を土台にした戦争を遂行・占領を維持する軍隊という殺人組織があるからだ。今も沖縄には、在日米軍の7割(面積も軍人数も)が置かれ、日米地位協定という日本の国内法の上に立つ枠組みによって強固に維持されている。日本政府は米軍と自衛隊を一体化させながらこの支配を維持・強化し続けて、沖縄の人々の命と暮らしを守らない。

戦時中から現在に至るまでを通して高里さんは語った。その80年にもわたる沖縄の性被害・性的暴行の連なりに、私たちは強い衝撃を受けた。まさに「構造的性暴力」が今も続いている。

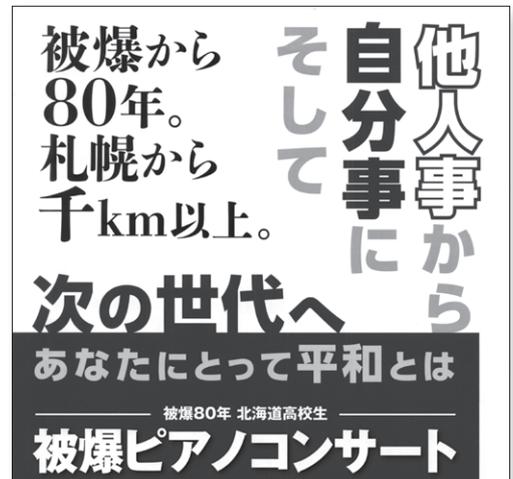
# （ さようなら原発 ）

3・8全国集会に、全体では、およそ3000人、日退教は事務局を含め49名が参加をしました。政府、電力会社は福島原発事故を教訓にせず、各地で再稼働を進めようとしています。多くの仲間が、反対活動を続けています。



# （ いろんな活動を ） （ しよう! ）

今年、戦後80年、被爆80年の年になります。連合北海道・退職者連合・北退教も支援する高校生）被爆ピアノコンサートが札幌・千歳で7回（3・28）（4・1）行われました。クラウドファンディングで資金を集めての開催です。また、被爆80年を記念し、8月にジュネーブで開催される国連軍縮会議に核廃絶を求める署名を届ける第28代目の高校生を30人派遣します。18都道府県で選考会を開き、小論文・面接で5月末までに決定することです（他の県の高校生は全国枠）。昨年9月の退連高齢者集会にも3人の高校生平和大使が報告をし、参加者に大きな感動を与えました。



## 2025年度の年金額が4月から改訂(1.9%増)

されませんが  
物価高騰により、実質目減りです。  
4月から以下ようになります。

	2025年度の年金額（月額）
国民年金※1	69,308円（2024年度比+1,308円）
厚生年金※2	232,784円（2024年度比+4,412円）

※1 老齢基礎年金1人分

※2 夫婦2人分の老齢基礎年金を含む標準的な年金額

詳細は、事務局だより（1月24日付）又は日退教HPを参照

## 副会長の林秀彦さん （北海道・東北ブロック選出） ご逝去されました

病氣療養中のところ、去る1月16日に亡くなりました。

2021年から日退教副会長としてご活躍されました。これまでの活動に感謝するとともに、心よりご冥福をお祈りいたします。

## 本を製作してみませんか？

退職をすると、40年ぐらいの足跡を本にしてみたい、と考えたことはありませんか？

実践記録、趣味の記録、旅行の記録、家族の記録、自伝……自分の書籍を製作する喜びは、一段と大きいものがあります。自己出版の制作には、郁朋社さんが最適です。

「マルクス・資本論 学習テキスト」も、(株)郁朋社で制作しました。

遠くに住んでいても、データを送れば出来上がります。

郁朋社：〒101-0061

千代田区神田三崎町2-20-4 八木ビル

☎03-3234-8923

mail: ikoshi@ikuhousya.com

# さあ！中国の奥地へ

2020年から延期に延期されていた日退教結成50周年中国旅行  
昨年11月末に査証が不要になり、以前のように行き易くなりました。

10月20日～24日、4泊5日の旅です。

成都（かわいいパンダ、武侯祠博物館、錦里古街、変面）

重慶（日本軍の重慶空爆、三峡博物館、抗日戦争勝利記念館）

数回参加された方、初参加、退職記念の方も大歓迎です。

誘い合ってくださいませ！！ 別紙参照のこと。費用はおよそ34万円です。

旅行会社：㈱グローシーズ・サポート 尾崎明子

☎電話 090-6129-7496

mail: ozaki.fdk@gmail.com



## （何を今更と言わず、） 学習しましょう！

「マルクス・資本論 学習テキスト」を作成。劣化も甚だしい自民党政権、数兆円の資産を持つ超大金持ちもいれば、食料品の無料配布に並ぶ人たち、働けど働けど楽にならない人々、10万円の商品券をポンと配る人もいれば、数千円の商品券を手にする人もいます。これが資本主義の実態だ。学べば学ぶほど、資本主義の矛盾が明らかに。わずか5000円で学習できます。日退教に申し込みましょう！



### 2024年度カンパのお礼（中間決算）

39単会から250万円（昨年度繰越金は別に350万円）のカンパをいただきました。支出は、能登半島地震に200万円（昨年度との合計500万円）、水害被災者支援として石川・鹿児島に80万円を送金しました。御協力に感謝いたします。

情報の提供をお願いします。各単会では、機関紙、会報、通信、お便りなど、名称はいろいろですが、年に数回は発行して会員に配布しています。日退教のホームページを見れば、分かりますが、事務局に郵送かメールで送信すれば、ホームページに掲載します。自分の単会だけでなく、他単会の情報の内容を閲覧でき、参考にすることもできます。1面のQRコードからも可能です。是非、日退教に提供して下さい。

◆編集後記◆  
令和の米騒動が終らない。政府の備蓄米放出を受け、米の値段が下がると思いきや、いまだ、5kgあたり四千円を下らない。しかも田植すら済んでいないのに25年度産の米を買い付ける動きすら出ているという。そもそも日本の食料自給率はカロリーベースで38%しかない中で、唯一米だけは100%近くを維持し続け、食料安全保障の要という存在だったはずである。しかし、米の生産農家の収入は赤字続きのうえ、高齢化・後継者不足から離農も進んでいる。近年の気候変動の影響で米の収穫量が減少することも予想される。備蓄米放出だけでは根本的な解決にはならないのである。米不足最大の原因である減反政策を含め、農業政策全般を見直す時期に来ているのではないだろうか。